

# ペチュニア

花レシビ

## 管理と楽しみ方

06

### <ペチュニアの特徴>

- ナス科で主流は一年草ですが、多年草もあります（品種名カフナ）。春から秋にかけて色鮮やかに花壇を彩ります。
- 南アメリカの熱帯高原地帯原産の植物です。草丈が低く、草姿がこんもりとまとまるタイプや、側枝が大きく広がり吊り鉢などで垂れ下がるタイプがあります。植付ける用途によって使い分けると楽しみが広がります。
- 小輪の花を沢山付ける「マルチフローラ」タイプと大輪の花を次々に咲かせる「グランディフローラ」タイプがあります。

### <楽しみ方のポイント>

- 良い苗の選び方…  
茎が伸びすぎず堅く締まったものがよい苗です。なるべく葉色が良く、つぼみ数の多い苗を選びましょう。花びらにシミの入ったものは避けた方が良いでしょう。
- 植付け場所…  
日当たり、風通しが良く、排水の良い場所に植付けましょう。
- 水やり…  
土が乾いたら十分に水やりをします。乾燥には強いですが過湿には弱いので要注意です。
- 管理…  
咲き終わった花はこまめに摘み取りましょう。特に花びらの厚みが薄い品種は、雨に当たると花びらにシミが付きやすく、やがてとろけてしまう事があります。シミを見つけたら早めに摘み取ります。
- その他…  
伸びすぎて草姿が乱れてきたら、高さ1/3ぐらいで切り戻せば1ヶ月後には見事に再生します。

### <得する豆知識>

- ペチュニアは色が豊富で、それが様々に組み合わせさせた「覆輪咲き」も多数あるバラエティーに富んだ花です。
- 「サフィニア」もペチュニアの一種です。
- カーネーションの青色品種の開発にも一役買ったり、幅広い分野で活躍しています。

